

校長室だより第 46 号（令和 8 年 2 月 25 日）

## 5 年移動教室②

1 日目の午後の活動はクラスごとです。120 名を超える本校では、室内の活動はどうしても分散せざるをえなくなります。以下のようになります。

### 2・4 組は、体育館前方でクライミングウォール

1 組は、体育館後方でモルックというゲームで遊ぶ。その後、クラフト室でミニモルックを作成。

3 組は、クラフト室でミニモルックを作成。その後、体育館後方でモルックで遊ぶ。

この逆のパターンを 3 日目の午前に行います。

どのプログラムもとても楽しそうに取り組んでいました。そこが『おぐらっ子』のいいところです。

夕食を取った後のプログラムは、『ナイトハント』です。夜の少年自然の家を活動班で歩き、至る所に設置されたカードに描かれた動物を見つけます。そのカードの裏には文字が書かれていて、その文字をつなぎ合わせるとある単語が浮かび上がって来るというプログラムです。小雨が舞う中でのスタートとなってしまいましたが、子どもたちは暗がりの中を歩くことを楽しんでいました。怖がりな子もいれば、そうでない子もいて、キャー、キャー言いながら暗闇の中に消えていきました。（もちろん、懐中電灯を持ってです。）

大きなお風呂に入り、10 時になると消灯です。「寝なさい。」と言われても、なかなかおしゃべりをやめられないようでしたが、だんだんと静かになって…。こちらが思っているよりも早く寝たと思います。次の朝も起床時刻まで部屋で静かに過ごしていました。

朝食をとった後少しの休憩を挟んで、野外炊飯場に向かいます。カレー作りです。活動班を調理組と火おこし組に分けて活動します。調理組では、材料のニンジンやジャガイモ、玉ねぎの皮をむき、それを乱切りしていきます。玉ねぎのせいで、涙をぼろぼろ流す子もいました。集団で調理を行うと、その子の個性だけでなく、各家庭のカレーの作り方が垣間見ら

れる気がしました。ある班は、乱切りしたはずのニンジンやジャガイモがとても大きく、またある班はバラ肉の塊をそのまま鍋にぶち込んでいました（言葉遣いが悪く申し訳ありません）。私が「ほぐしてから入れた方がいいのでは？」と声を掛けても、「バラ肉だから鍋の中でばらけるはずです。」と返ってきました。

「大きな野菜の班には、とことん煮込むこと」「肉の塊の班には、煮ながら肉をときほぐすこと」を助言しました。

つづく